

---

---

## UBUSUNA PROJECT SYMPOSIUM 2014

### — いま 現在を知るとということ —

#### テーマ「震災、そして祈り」

平成26年8月10日(日) 13:30~17:00 (プレス受付 11:30~/一般受付 13:00~)

第一部: 13:30~ 特別上映会 / 第二部: 15:15~ シンポジウム

於 明治神宮 参集殿

定員: 300名 参加費: 2,500円(税込) 映画パンフレット付

---

---

日本のいまを記録した映画『産土』、『産土-壊-』の上映を通し、多くの方と認識の共有をめざす産土プロジェクトは、平成26年8月10日(日)東京・明治神宮の参集殿にて「いま 現在を知るとということ」と題し、『産土-壊-』の特別上映とシンポジウム(テーマ「震災、そして祈り」)を開催いたします。

つきましては、ご多忙中とは存じますが貴媒体にてご取材・ご紹介を賜りますようお願い申し上げます。



#### 【産土とは(リーフレットより抜粋)】

産土とは、人の生まれた土地。またはその土地の守り神のことをいう。

人が生まれる前から死んだ後まで、その人のことを守り続けると信じられてきた。

古代から受け継がれてきた、山や森や川などの厳しく豊かな自然環境から生まれた智慧や念いが、  
産土という土地そのものへの崇拜として残っているのかもしれない。

#### 【産土プロジェクトについて】

徳島県の神山町に住む映像作家長岡参氏をはじめ、国内外の映像作家を中心とした「森と共に生きる暮らし方」探訪キャラバン隊。本企画は、彼らが日本各地の様々な「いま」を撮影し、これからへのヨスガ=手懸りを探そうとした記録である映画『産土』、『産土-壊-』、その他取材に関する文章や写真などを、上映会やシンポジウム、オンライン上にて公開・共有し、日本のいまを発信するプロジェクトです。

## 産土プロジェクトシンポジウム 2014 開催のご案内



### 【『産土-壊-』東京初上映】

二作目となる『産土-壊-』では、前作『産土』のテーマである山の諸問題や限界集落の取材から一歩進み、「産土」という言葉の意味についてより深く探求しようとしてきました。震災で多くを失い荒廃する福島の実と希望、静岡の川の源流に残る古い伝承と智慧、福井の産土が敷かれた産小屋と祭、鹿児島<sup>い</sup>の聖なる木など…。そこにはあるがままの自然、遥か昔から続いてきた人々の暮らしがありました。現在を知ることで、日本という土地に生まれた私たちが忘れかけていた何かを見つけられるかもしれません。

今回はシンポジウム開催にあたり、本年3月のディレクターズカット完成後、1時間に再編集した特別版を東京で初上映します。都市に暮らす人々の目に、かけがえのない受け伝えるべき「日本」の姿はどのように映るのでしょうか。上映終了後、長岡監督と民俗学者の野本寛一氏による解説の時間を設けています。

### 【監督×民俗学者、山伏、神道研究者によるトークセッション】

第二部のシンポジウムでは、映像を通して伝わる日本各地の現状、「産土とは」「震災と祈り、人はなぜ祈るのか」など登壇者の皆さまと共に模索し考えます。最後に参加者のみなさまからの質疑応答の時間を設けています。

#### 登壇者プロフィール

##### ◆野本 寛一／Kanichi Nomoto（民俗学者）

1937年静岡県生まれ。國學院大學文学部卒業。近畿大学名誉教授。柳田国男記念伊那民俗学研究所元所長。主な著書に『地霊の復権—自然と結ぶ民俗をさぐる』、『神と自然の景観論 信仰環境を読む』など。

##### ◆星野 文紘／Fumihiro Hoshino（山伏）

1946年山形県出羽三山羽黒山宿坊「大聖坊」の三男として生まれる。1971年東洋大学文学部を卒業と同時に「大聖坊」十三代目を継承。出羽三山神社責任役員理事、出羽三山祝部総代、多摩美術大学芸術人類学研究所特別研究員、NPO法人公益のふるさと創り鶴岡理事など。

##### ◆今泉 宜子／Yoshiko Imaizumi（明治神宮 国際神道文化研究所主任研究員）

岩手県生まれ。東京大学教養学部比較日本文化論学科卒業。雑誌編集者を経て、國學院大學で神道を専攻、2000年より明治神宮に所属。2002年、ロンドン大学SOAS博士課程修了。博士(学術)。2009年9月より1年間、フランス国立社会科学高等研究院客員研究員。著書に『明治神宮 戦後復興の軌跡』。

##### ◆長岡 参<sup>マイル</sup>／Mile Nagaoka（映像作家、『産土』監督）

東京から神山に移住し、自身のドキュメンタリーを制作する傍ら、【長岡活動写真】の屋号で四国を中心とした様々な映像、広告制作に関わる。2012年『鬼ヶ島の祭』でトヴェリ映画際 METERS、審査員特別賞受賞。

##### ◆長久保 智子／Satoko Nagakubo（フリーアナウンサー、元福島テレビ）

福島県生まれ。日本女子大学生物学専攻卒業。早稲田大学大学院人間科学研究科修了。元福島テレビアナウンサー。フジテレビ「スーパーニュース」、テレビ東京「L4you!」レポーターとして出演中。

## 産土プロジェクトシンポジウム 2014 開催のご案内

### 【 東京の祈りの聖地「明治神宮」 】

会場は、年間1千万人が集う東京の祈りの聖地であり、6年後には御鎮座 100 年を迎える明治神宮。およそ 70 ヘクタール、東京ドーム 54 個分に相当する壮大な「神宮の杜」は、都心における貴重な緑の空間となっています。今回シンポジウムを行うことで、「土」や「森」を失った都会の人々が、身近に存在する神社をコミュニティスペースや祈りの場として再認識するきっかけになればと思います。



明治神宮 参集殿

### 【 産土プロジェクト 2014 開催概要 】

◆日時 平成 26 年 8 月 10 日(日) 13:30~17:00 (プレス受付 11:30~、一般受付 13:00~)

◆会場 明治神宮 参集殿 (〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町1-1 )  
原宿側より境内の南参道をまっすぐ進み、大鳥居手前の右側(第二駐車場側)

◆交通 JR 山手線「原宿」駅／東京メトロ千代田線・副都心線「明治神宮前」駅  
※お車でのご来場はご遠慮くださいますようお願いいたします。

◆プログラム 第一部 特別上映会 13:30~15:00 ※上映後、解説有  
第二部 シンポジウム 15:15~17:00  
出演者 野本寛一(民俗学者、近畿大学名誉教授)  
星野文紘(山形県出羽三山羽黒山宿坊 大聖坊山伏)  
今泉宜子(明治神宮 国際神道文化研究所主任研究員)  
長岡参(映像作家、『産土』監督)  
司会:長久保智子(フリーアナウンサー 元福島テレビ)

◆参加費 お一人様 2,500 円(税込) 映画『産土-<sup>かい</sup>壊-』パンフレット付

◆参加申込 **事前予約制**。イベントサイト Peatix よりお申込みください。  
URL: <http://ubusuna2014.peatix.com>

◆申込締切 8 月 9 日(土) 開催日前日まで

主催: NPO 法人グリーンバレー「産土プロジェクトシンポジウム 2014」事務局

産土プロジェクト WEB: <http://ubusuna-movie.com>

後援: 明治神宮

平成26年度愛地球博成果継承発展助成事業

このシンポジウムは、一般財団法人地球産業文化研究所の愛・地球博成果継承発展助成事業により実施しています。

— ご取材・ご紹介に関するお問い合わせ —

「産土プロジェクトシンポジウム 2014」事務局／担当: 藤木・川口

E-mail: [info.ubusuna@gmail.com](mailto:info.ubusuna@gmail.com) 電話: 090-1106-2773

## 取材申込書

E-mail 送信先: [info.ubusuna@gmail.com](mailto:info.ubusuna@gmail.com)

ご多用中の折、誠にお手数ですが、準備の都合上、8月1日(金)までに、  
返信用紙にご出欠、必要事項ご記入の上、E-mailにてお知らせくださいますようお願い申し上げます。

平成 26 年 8 月 10 日(日) 13:30~17:00 (プレス受付 11:30~、一般受付 13:00~)

ご出欠	<input type="checkbox"/> ご出席	<input type="checkbox"/> ご欠席
撮影	<input type="checkbox"/> 希望する	<input type="checkbox"/> VTR <input type="checkbox"/> スチール
貴社名		
ご所属		
貴媒体名		
ご芳名		
ご住所		
TEL/FAX	TEL:	FAX:
E-mail		
通信欄	[その他ご希望などがありましたら、ご連絡下さい]	

— ご取材・ご紹介に関するお問い合わせ —

「産土プロジェクトシンポジウム 2014」事務局

担当: 藤木・川口

E-mail: [info.ubusuna@gmail.com](mailto:info.ubusuna@gmail.com)

電話: 090-1106-2773